

●□

日産合成工業株式会社 メールマガジン

2016・05・02 第113号

●□

このたびの熊本県を中心に九州で発生した大地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様のご無事と一刻も早い収拾・復興をお祈りいたしております。

今年は「皇居乾通り（いぬいどおり）一般公開」に桜を見に行ってきました。「皇居乾通り一般公開」は、2014年に天皇陛下が80歳の傘寿を迎えられたことを記念して行われ、好評であったことから、毎年春の桜の時期と、秋の紅葉の時期におこなわれています。コースは、皇居南側の「坂下門」から入り、宮内庁舎前を通って北側の「乾門」までの約750mを一方通行で通り抜けます。もちろん一般公開期間中、入り口である坂下門前では警察官による手荷物検査とボディチェックも空港並みの厳しさで行われます。カメラの三脚や一脚を持った人も見かけませんでしたので、これも持ち込み禁止のようです。

この750mの中にソメイヨシノ52本、サトザクラ5本、シダレザクラ3本、ヤマザクラ系12本、ヒガンザクラ4本の合計76本（宮内庁のホームページ）の桜が咲いています。いわゆる桜のトンネルの中を歩くというよりは桜は松や柳の緑の間に、お濠や石垣などを背景に咲いており、桜の美しさ、妖艶さが際立って、大好きです。

2016年の皇居乾通りの春の一般公開は3月25日（金）から3月31日（木）までの7日間の予定で開催されていました。今年の畜産学会は3月30日まででありましたので、あきらめていました。しかし、桜の開花が予定より遅れたことから4月3日（日）まで3日間延長されることが3月30日宮内庁から発表されましたので、行くことができました。冷たい北方気団のおかげです。訪ねたときにはソメイヨシノの大半が満開で、エドヒガンザクラ、コヒガンザクラ、シダレザクラも満開でした。これらは花の付き方、色合いなどが異なりますので、それぞれ独自の美しさが鑑賞できます。素人にもわかりやすいように樹木には品種名のプレートが付けられています。



宮内庁は親切です。

また、乾門を出た後、皇居のお濠沿いの歩道を東に進んで、北桔橋門（きたはねばしもん）から皇居東御苑（こうきよひがしぎよえん）に入苑すると、アマギヨシノ・ヤマザクラ・センダイヤ・シダレザクラ・コヒガンザクラなどの各種桜が見頃を迎えていました。写真は北桔橋門から見た乾通りの様子です。

なお、2016年秋と2017年春

の「皇居乾通り一般公開」は、樹木の更新工事のため実施されません。今回は、2017年秋が予定されています。

さて、ニッサンメールマガジン第113号をお届けします。

北海道と都府県のTMRセンター設立条件の違い

農林水産省畜産部によると2014年現在、全国のTMRセンターの組織数は北海道が59組織、都府県が62組織合計121組織です。しかし最近の動向をみると北海道は13年から14年の1年間で8組織も増加したのに対し、都府県では13年は59組織、14年62組織と設立は減速気味です。

その理由は、都府県では酪農家間の距離が長く、TMRセンターに飼料生産を一元的に集約しても運送費が高く効率が悪く価格が高くなることが挙げられます。農林水産省飼料課も「運送費は飼料代に反映される。労働力が低減できても、輸入粗飼料や輸入濃厚飼料を購入するのとさほど変わらなければ、メリットは少ない」と指摘しています。

また、都府県では原料に輸入粗飼料を利用するTMRセンターが71%もあります。北海道では85%が粗飼料を自給、1,000ha以上の自給飼料生産圃場面積を持つTMRセンターがある一方、都府県では農地の確保がままならないのが現状です。

しかし、補助金で安価に生産できる国産粗飼料であるイネホールクロップサイレージ(WCS)や食品製造工場副産物などを使ったエコフィードの活用が広がれば、コスト面でのメリットが出て都府県でもTMRセンターの設立する流れが出てくる可能性が再び高まりそうです。

農研機構と3法人が統合し、新たなスタート(その2)

標示については前回(メルマガ112号)でお知らせしましたが、4月に入って実際に旧畜産草地研究所を訪ねてみました。その結果は、当社に關係する農研機構畜産草地研究所および動物衛生研究所は、名称がそれぞれ畜産研究部門および動物衛生研究部門に名称が変更されただけで、大きな変更はありませんでした。4月1日付の人事も、定例の人事と大差ありませんでした。

新しい農研機構の研究の柱は「研究開発成果の最大化」を図るため、

- 1.生産現場の強化・経営力の強化、
- 2.強い農業の実現と新産業の創出、
- 3.農産物・食品の高付加価値化と安全・信頼の確保、
- 4.環境問題の解決・地域資源の活用、

の4つの重点化の柱を立てて、5年間の第4期中長期計画に基づく研究開発に着手しました。

詳細は下記のサイトをご覧ください。

<http://mailmag.maff.go.jp/c?c=19045&m=3867&v=dc050ecf>

ニッサン情報 第93号の概要およびURL

乳牛の栄養管理の基本は、エネルギー、タンパク質、ミネラル、ビタミンなどの栄養素をバランスよく給与することです。しかし、夏季の暑熱環境では飼料摂取量が減少する([酪農・豆知識第105号](#)参照)ため、日本飼養標準などを参照して栄養管理の改善を図ることが必要です。

詳細は「ニッサン情報」第93号ではエネルギー代謝、イオンバランス、抗酸化作用による改善法を紹介しています。

「ニッサン情報」は、当社のウェブサイトのトップページにある「技術情報」をクリックし、「ニッサン情報」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

お知らせ

印刷用の PDF ファイル

添付のPDFファイルをご利用いただくためには、Adobe Readerが必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく願いします。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。